

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

オンライン会議（ビデオ/Web/音声）システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 25 No.15 2023年8月15日

製品・サービス動向-国内

■アバー・インフォメーション：フル HD 1080p・光学 12 倍ズームの WEB カメラ「CAM520 Pro3」、10月に新発売

(PRTIMES：8月1日)

アバー・インフォメーション株式会社 (<https://jp.aver.com/default.aspx>) (東京都新宿区) は、フル HD 1080p・光学 12 倍ズームの WEB カメラ「CAM520 Pro3」を 2023 年 10 月 (予定) より販売を開始する。価格はオープンプライス。



CAM520 Pro3

(写真提供：アバー・インフォメーション)

CAM 520 Pro3 は、左右上下に動くパン・チルト機能や光学 12 倍 (最大 36 倍) の高性能ズームに加え、各参加者を個別表示する機能「スマートギャラリー」を搭載した WEB カメラ。3 系統 (HDMI/USB/IP) の出力と、PoE+給電に対応し、設置場所の施工や用途に合わせて最適な接続方法を選択できる。

スマートギャラリーは、AI 機能により会議参加者の顔や上半身の映像を切り出し、自動的に個別表示する機能。「ヘッドショットモード」「上半身モード」という 2 つの表示モードが選択でき、映像を通じて参加者一人ひとりの表情や反応を届けることができるよ

うになっている。



スマートギャラリー機能
(写真提供：アバー・インフォメーション)



HDMI/USB/IP の出力、PoE+給電に対応
(写真提供：アバー・インフォメーション)

CAM520 Pro3 には、OSD (オンスクリーンディスプレイ) 機能が搭載されており、WEB カメラと HDMI で接続したモニターにリモコンのボタン操作ひとつで設定画面を表示できるため、PC を介さずにカメラの詳細設定を行うことができる。

なお、同社では Web カメラのデモ機貸し出しを行っている。

※CAM 520 Pro3 製品紹介ビデオ

<https://youtu.be/CzZOz3RBtBY>

■カゴヤ・ジャパン：VPS で Web 会議システム「Jitsi Meet」の提供を開始

(PRTIMES：7月31日)

カゴヤ・ジャパン株式会社 (<https://www.kagoya.jp/>) (京都府京都市) は、「KAGOYA CLOUD VPS」のアプリケーションセットアップにおいて Web 会議システム「Jitsi Meet (ジツチミート)」の提供を開始した。

Jitsi Meet とは、オープンソースで提供されているセキュアな Web 会議システム。無償で使える上に、有料の Web 会議システムと比較して同等以上の機能を備えており、高品質な Web 会議が実現可能となっている。また、カゴヤ・ジャパンが提供するチャットシステム「KAGOYA Chat」と連携することで、制約なく音声/ビデオ通話が行える。

Jitsi Meet で使える主な機能としては、画面共有、テキストチャット、発言するための挙手、パスワードによる参加者の制限、アクティブな参加者の自動表示、アンケート機能、背景の機能、Web 会議の録画・録音など。通常、有料の Web 会議システムで提供されている機能が標準で用意されている。

カゴヤ・ジャパンは、クラウドサービス、レンタルサーバー事業等を行うアプリケーションサービスプロバイダ。1926年に茶摘籠販売として創業し、1998年に現在の業態の礎となる ISP サービスを開始。レンタルサーバー・クラウド・VPS などを中心に、中小企業向けリーズナブルなものから官公庁向けの高セキュリティに対応したものまで、国内自社データセンターという安定基盤でのサービス展開で長年の実績を誇る。

■TENTO：場の雰囲気共有できる次世代のオンラインコミュニケーションツール「noiz」が8月からサービス開始

(PRTIMES：8月2日)

株式会社 TENTO (<https://www.tento-net.com/>) (東京都北区) は、次世代型オンラインコミュニケーションツール「noiz」のサービスを8月から開始した。



Noiz 画面イメージ (写真提供：TENTO)

Noiz は、Zoom など従来の Web 会議ツールのルーム「テーブル」という小単位に分けることで複数の会話が同時に成り立つようにし、かつ他の会話が薄く聞こえることで会場全体の雰囲気を感じ取ることができるようにしたツール。従来の Web 会議ツールの弱点だった、「同時に複数の会話ができないこと」を解決することに焦点をあてた。オンラインのグループワークや研究会、展示会などに最適という。

従来の Web 会議ツールで使われていた「ルーム」を「テーブル」という単位に分けることでテーブルごとに独立した会話を行うことができる。テーブルの移動はワンクリックで瞬時に行えるため、会話の切り替えも簡単。テーブル名やテーブルの画像の設定なども行える。

また Noiz は、他のテーブルの会話がかうすら聞こえる設計になっている。これにより場の雰囲気が感じられ、リアル会場と同じような体験を得られるようになっている。さらに音量的設定ができるため、必要に応じて自分の会話にフォーカスするか全体を広く聴くかを選ぶことができる。

テーブルのロック（鍵をかける）も行える。ロックをかけると管理者ユーザしかそのテーブルには入れなくなる。またテーブルの会話は外にはもれない。さらに、「閲覧モード」を使うと管理者ユーザは自分の姿を隠してテーブルを回ることができる。一方、「メガホン」を使うと、すべてのテーブルにむけて発信できる。

Noiz は直感的に使えるのも特徴。Zoom などの従来型のツールと操作のうえで異なるのはテーブルのクリックだけで、オンラインコミュニケーションを体験したことがある人ならすぐに使い始めることができる。加えて、他の人の共有画面もクリックで自由に拡大できるなど、ユーザが思ったことをそのままに実現できるので管理者の手間を省くことができる。

使用にあたっては2つのプランがある。（1）スポット noiz：時間当たりで課金するサービス。リアル貸し会議室のように気軽に使えるプラン。2,000 円/時間。最大 100 人程度（推奨：50 人）。（2）サブスクリプション：ルームを占有するプラン。最大 100 人～（推奨:50 人～）。価格は同社へ問い合わせ要。

ビジネス動向-国内

■ブイキューブ：累計設置台数 20,000 台突破の「テレキューブ」法人向け個室ブースで防音個室ブース設置台数シェア No.1 を 2 年連続獲得

（PRTIMES：8 月 1 日）

株式会社ブイキューブ（<https://jp.vcube.com/>）（東京都港区）は、日本マーケティングリサーチ機構が実施した大学など学校法人を含む法人が購入し設置する個室ブースの市場調査において、防音個室ブース「テレキューブ」が防音個室ブース設置台数シェア No.1 を獲得したと発表。

防音個室ブースシェア No.1 は 2 年連続の獲得となり、全国のテレキューブ設置台数は 2023 年 7 月現在、20,000 台を突破したという。

コロナ禍を経てここ数年で働き方は大きく変化した。多様な場面でオンラインコミュニケーションが活用されるようになり、一人で作業や Web 会議ができる個室空間、少人数用の会議室の需要が高まってきているという。

テレキューブの設置場所はオフィスビルにとどまらず、オンライン就職活動、1on1 の実施、オンラインでのメンタルヘルス相談といったシーンでも活用され、大学や病院などにも拡大している。

他にも、ビルのエントランスや駅、空港などの公共空間に設置されている「街かどテレキューブ」では、移動中でも気軽にセキュアでインターネット環境が整った空間を利用可能であることを活かし、ビジネスとしての活用はもちろん、金融や健康に関する相談や推し活、資格取得や自己啓発のための学習シーンなど、使用用途が広がっている。

なお、20,000 台突破感謝祭「お試しっくすキャンペーン」を実施中。本キャンペーンでは 6 ヶ月のテレキューブ設置サブスクリプションプランが期間限定でお得になるもの。2024 年 6 月 30 日まで、プランの月額費用がおよそ半額になる。

※キャンペーン詳細：

https://jp.vcube.com/telecube#six_campaign

■TD SYNEX：北欧ノルウェー生まれのシンプルでスタイリッシュなビデオ会議デバイスブランド「Neat」の取り扱いを開始

（PRTIMES：8 月 2 日）

TD SYNEX 株式会社（<https://www.synnex.co.jp/>）（東京都江東区）北欧ノルウェー生まれのシンプルでスタイリッシュなビデオ会議デバイスブランド「Neat」の製品をディストリビュータとして取り扱うことを発

表した。8月2日より受注・発売開始する。



Neat デバイス（写真提供：TD SYNTEX）

Neat は、ビデオ会議のハードウェアを製造・販売するノルウェー初のスタートアップ企業 Neatframe 社（<https://content.neat.no/japan.html>）（通称：Neat）が展開するブランド。Android ベースのビデオ会議デバイスで、さまざまな会議形態に対応している。製品は Bar タイプと Board タイプがあり、「Teams Rooms」と「Zoom Rooms」の両方に対応している。初心者でも簡単に導入できるような基本的な備品が同梱されている。

日本においても2020年8月から事業立ち上げを開始し、Neat 製品は多くの国内大手企業だけでなく、金融機関や教育など公共機関などに幅広く活用されている。

この度、TD SYNTEX は、Neat 製品の取扱いを開始することで、「Microsoft Teams Rooms」や「Zoom Rooms」などの会議ソリューションの充実が図られ、ハイブリットワークの導入ニーズに応えることができるという。Zoom や Microsoft 製品関連ソリューションの増加により、ビデオ会議ソリューションの導入ニーズが一層高まると期待されている。Neat のラインナップを通じて、さまざまなニーズに合わせた統合的なビデオ会議ソリューションを提供する。

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報（8月）

「従業員中心のオフィス改革～『もう出社しない』なんて言わないよ、絶対～」 「Web 講演会の滞在率 30%UP が期待できるプラットフォーム・演出とは!？」 「バーチャル株主総会 配信会場シミュレーション」など

会場：オンライン／オンデマンド／東京／大阪

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（8月）

会場：オンデマンド（2020年以降録画）

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

<海外>

■Integrate

日時：8月30日～9月1日

会場：ICC, Sydney

主催：Diversified Exhibitions Australia

詳細・申込：<https://integrate-expo.com/>

■Webexone 23

日時：10月24日～26日

会場：アナハイムマリオット（米国・カリフォルニア州）
& バーチャル

主催：米シスコシステムズ

詳細・申込：<https://www.webexone.com/>

国内その他：<https://cna.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。
CNA.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999 年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2023年8月15日号

ホームページ: <https://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp